

● 取組事例詳細

| | |
|---------|------------|
| 企業／団体名称 | 株式会社いとめん本店 |
| 主要業種 | 食料品製造業 |

公開日：2011年03月17日

「協働の着眼点」に照らした取組内容（「ベーシック16」）

1 お客様を基点とする企業姿勢の明確化

『健康と楽しさを奏でる麺の里』と位置づけ、麺類を提供することにより、昔ながらの麺食文化が変化することのないよう、伝統の存続と味の追求にまごころ込めた業務遂行を基本方針としております。

また、仕事以外では、今後更なる円滑な事業運営および当社の「存続かつ成長」を実現するため、社員一人一人の意志統一に向けたコミュニケーションアップを図り、『和』を大切に考えております。

2 コンプライアンスの徹底

従業員が意識を高めるように法令の改正時には、朝礼及び回覧にて内容の確認を行っている。

社内に関するコミュニケーション

3 安全かつ適切な食品の提供をするための体制整備

安心していただける食品を提供するために、製造マニュアルによる作業の明確化。各記録による意識向上を行っております。また、従業員衛生管理日報を設け、日々の衛生管理、異物混入防止対策を行っている。

4 調達における取組

原材料・資材受入点検記録にて管理をし、定期的に検査報告を依頼している。

5 製造における取組（製造）

保管・流通における取組（卸売）

調理・加工における取組（小売）

仕込み記録（使用原料・配合・熟成）、包装日報、ゆで工程管理記録、商品販売（出荷）管理台帳にて商品の流れを把握しております。また、各部署に清掃記録用紙を設置し毎日の清掃を徹底しております。品質管理では、製造日報にて管理を行い、定期的に外部に依頼し、商品の安定化に努めている。

6 販売における取組

生産計画、出荷計画、配送計画のスケジュールをたて、より良い状態でお客様へお届け出来るよう従業員同士のコミュニケーションを行っている。

取引先に関するコミュニケーション

7 持続性のある関係のための体制整備

原材料、資材の仕入先と安全性を高めるため、常にコミュニケーションを図り情報交換を行っている。

8 取引先との公正な取引

お客様基点という基本方針を共有し、ビジネスパートナーとしてお互いの利益が出るような関係作りを目指している。

9 取引先との情報共有、協働の取組

ビジネスパートナーとして、コミュニケーションを図り、常に最新情報を共有し、お客様のニーズにあった商品提供に努めている。

お客様に関するコミュニケーション

10 お客様とのコミュニケーションのための体制整備

お客様からのご意見は尊重し、自社ホームページで公開しております。クレームに対しては、迅速に対応するよう努めております。また、朝礼にて全従業員に報告し情報を共有している。

11 お客様からの情報の収集、対応、管理

お客様のご意見、取引先の情報を収集し、企画会議にて共有している。

12 お客様への情報提供

自社ホームページにてお客様のご意見、商品情報等公開しております。

13 食育の推進

展示会、物産展などで、商品特徴、調理方法の案内を行っております。また、小学校の社会見学受け入れ、工場見学、食育、試食等を行っている。

緊急時に関するコミュニケーション

14 緊急時を想定した自社体制の整備

緊急時の連絡・指示体制を明確にしている。

15 緊急時の自社と取引先の協力体制の整備

どのような事態が起こっても対応できるよう日頃からコミュニケーションを図っている。

16 緊急時のお客様とのコミュニケーション体制の整備

苦情報告書に基づき、迅速に対応するよう従業員に教育している。